

岡崎市民病院改革プラン(平成28～32年度版) 平成29年2月改訂の概要

平成29年2月改訂の趣旨

公立病院の改革プランは、新公立病院改革ガイドラインにより、これまでの「経営効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」に、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を加えた4つの視点から策定することとされました。

今回の改訂では、平成28年10月に愛知県地域医療構想が示されたことから、平成27年度に策定した岡崎市民病院改革プラン(平成28～32年度版)を見直し、新ガイドラインで示す4つ目の視点「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」を加えました。

平成29年2月改訂

- 経営効率化
- 再編・ネットワーク化
- 経営形態の見直し
- 地域医療構想を踏まえた役割の明確化(追加)

岡崎市民病院改革プラン(平成28～32年度版) 平成29年2月改訂

経営の効率化と機能強化

○以下の数値目標を設定して経営改善に取り組みます

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
医業収支比率(%)	93.3	95.2	96.3	96.8	97.3
経常収支比率(%)	96.5	98.7	99.5	99.6	100.0
病床利用率(一般病床)(%)	81.9	84.5	87.3	86.2	85.0

○以下の数値目標を設定して高度急性期病院としての機能強化に取り組みます

	H28年度目標	H29年度目標	H30年度目標	H31年度目標	H32年度目標
平均在院日数(日)	12.2	11.9	11.6	11.3	11.0
新入院患者数(人)	17,560	17,750	17,930	18,180	18,340
紹介率(%)	66.0	69.5	74.0	77.5	80.0
逆紹介率(%)	57.8	59.6	61.4	63.2	65.0
入院平均単価(円)	58,917	60,627	61,340	62,670	64,000
外来平均単価(円)	16,502	17,248	18,360	19,180	20,000

[取り組み]

○医療(医療の質の向上、患者獲得)

- ★がん診療拠点病院として医療水準及び治療成績の向上(がん診療の充実とがん患者獲得)
- ★外来治療センターや糖尿病センター、内視鏡センター等の運用(外来機能の高度専門化)
- ★病棟薬剤業務の充実・強化(病棟薬剤師による薬剤管理と投薬指導)
- ★地域連携拠点病院機能の強化(紹介・逆紹介率向上、平均在院日数短縮)
- ★医師会等地域医療機関との連携強化(紹介患者の増加)
- ★当院の優れた機能や実績など診療内容に関する情報発信の強化
- ★開院予定の大学病院と地域の機能分担を協議



○人事関係(採用、人材育成、負担軽減)

- ★医療従事者を目指す学生等にホームページを活用した情報発信
- ★合同説明会等により当院の取り組みをアピール(優秀な研修医獲得)
- ★次世代の地域医療を担える医師の育成
- ★専門資格などの取得促進、人材育成(良質な医療の提供)

- ★看護師のキャリア採用推進、院内認定看護師の育成(看護の質向上)
- ★現場の負担軽減、職務分担・配置・シフトの工夫(産休、育休、離職防止)

○経費節減・その他

- ★ジェネリック医薬品の採用拡大、同等で安価な診療材料への切替え(材料費節減)
- ★老朽化した施設の改修や最新の医療器械備品購入の計画的実施(運営資金確保)
- ★ホームページ、広報誌、メディアを利用した広報戦略の強化
- ★病棟の個室数増加(患者満足度向上)と医療需要に合わせた適正規模への転換検討
- ★信頼され期待される病院を目指し、患者目線に立った診療とサービス向上を実践

地域医療構想を踏まえた役割

新規

○平成37年当圏域必要病床数(高度急性期231床、急性期706床、回復期902床、慢性期486床)への対応

- ★当院の715床の機能は高度急性期及び急性期の機能を役割とする
- ★3次医療機関として重症患者、救急疾患など高度急性期医療を担う
- ★2次救急病院が十分機能していないこの圏域で、2次救急のかなりの部分を当院が担ってきた高齢化が進む中、2次救急患者の多くを占める高度な医療は必要ではないが入院は必要といった患者は増すと思われ、引き続きこうした医療ニーズにも対応
- ★開院予定の大学病院とは協調的な関係により、当院は高度急性期と急性期を担い、限られた医療資源、設備を最大限有効活用し、圏域内の機能分担を図る

地域包括ケアシステムの構築に向けた役割

新規

- ★医療スタッフの確保と育成に努め、高度な医療提供体制の確保
- ★3次、2次救急患者の受け入れを断らない救急医療体制の維持
- ★他の医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所と連携し、切れ目のない医療提供体制の確保



再編・ネットワーク化

改訂

- ★地域医療機関との紹介・逆紹介、医療情報の共有化などにより連携を強化し、高度急性期医療を担う病院として、病院間・病院診療所間での連携強化による地域完結型医療ネットワークの構築
- ★共になん治療を担っている愛知県がんセンター愛知病院との連携強化を図るために新たに協議会を設置し、両病院の医療連携のあり方等について協議
- ★認知症疾患医療センターの体制を強化し、認知症の人の地域生活を支える医療と介護の連携の推進役となり地域支援体制を充実

経営形態の見直し

- ★地方公営企業法の一部適用を継続する中で、全部適用や地方独立行政法人化と同等のメリットが得られるよう取組を成果あるものとして改革を推進。今後の環境変化などにより、大きく経営の方向性を転換する場合は、必要に応じて経営形態を検討